

第39回（オンライン）コンシューマーズカフェのご案内 「ファクトチェック～偽情報・誤情報とどう向き合うか」

センセーショナルな報道に触れると私たちは心配になり、それが「フェイクニュース」だと知ると抛り所を失ってさらに不安感が増すものです。FIJ（ファクトチェック・イニシアティブ）は、ネットなどに回る真偽不明の情報の真偽を調べて、それが誤情報であるかどうかについて発信するファクトチェック活動を支援するNPO法人です。ファクトチェック活動は世界各国で展開されています。

FIJ 理事長 瀬川至朗氏（早稲田大学政治経済学術院 教授）をお招きし、ファクトチェックの仕組み、考え方についてお話しいたします。多様な情報が氾濫する中で、どのように考え、どのような生き方を選べばいいのか、一緒に考えられますと幸いです。どうぞ、お誘い併せて、お早めにお申し込み下さい。

日時： 2023年3月8日（水） 13:30-15:30

場所：ZOOMにて開催（参加お申込み完了後、3月7日までに、ZOOM入室情報をお知らせします）

プログラム：

13:20～ ZOOMへの入室開始

13:30～ 開会

13:40～ FIJ 理事長 瀬川至朗氏

「ファクトチェック～偽情報・誤情報とどう向き合うか」

14:30～ 質疑応答

15:30 閉会

参加費：500円（くらしとバイオプラザ21 会員は無料）を下記までにお振込みください。

みずほ銀行 京橋支店 普通 2021370 トクヒ）クラシトバイオプラザ21

参加申込み：申込み先着20名。ご参加希望者はmailまたは以下のフォームからお申込みください。メールの場合は「第39回コンシューマーズカフェ参加希望」とタイトルをつけ、①E-mail 当日連絡用携帯電話番号、②氏名、③ご所属を記入し佐々まで、お申し込み下さい。（bio@life-bio.or.jp）または、次のフォーム（短縮URL）からお申し込み下さい。



<https://forms.gle/1Lk97NpJWFLY2Zpk9>

お申込後、5日以内に参加の可否のメールが届かないときは、お手数ですがメールでご連絡下さい。参加費の入金を確認できた方、くらしとバイオプラザ21の会員には、3月7日までに、当日の入室情報をメールでお知らせします。

申し込み/問い合わせ先：くらしとバイオプラザ21事務局 担当 佐々・田中
〒103-0025 中央区日本橋茅場町3-5-3 日宝茅場町ビル8階
tel 03-5651-5810 fax 03-3669-7810 E-mail sassa@life-bio.or.jp

今までに開催されたコンシューマーズカフェ

- 第1回「消費者庁における情報の一元化の現状と課題」全国消費者団体連絡会 事務局長 阿南 久さん
- 第2回「健康食品の問題点と今後のあり方」(独)国民生活センター商品テスト部調査役 宗林さおりさん
- 第3回「今、問われる消費者の役割」コープこうべ参与 伊藤潤子さん
- 第4回「農薬、放射性物質の基準はどう決めるのか」日本獣医生命科学大学鈴木勝士さん、コープネット太田憲治さん
- 第5回「食のリスクコミュニケーションの実践～食品安全委員会の活動から」食品安全委員会委員長 小泉直子さん
- 第6回「食品表示から考える」日本生活協同組合連合会 安全政策推進室 室長 鬼武一夫さん
- 第7回「フーコムネット設立1年～科学的な食情報を消費者に届ける苦闘を振り返る」科学ライター 松永和紀さん
- 第8回「食品安全委員会の明日～BSE 対策の見直しを含め」内閣府食品安全委員会事務局長 姫田尚さん
- 第9回「GM作物の誤解」毎日新聞社 小島正美さん
- 第10回「これからの農業と食料について考える」宮城大学食産業学部フードビジネス学科教授 三石誠司さん
- 第11回「食品の機能性表示のこれから～グローバルな視点から考える」グローバルニュートリション顧問 高橋迪雄さん
- 第12回「不安の構造 リスクコミュニケーションはなぜ失敗するのか？」食の安全・安心財団理事長 唐木英明さん
- 第13回「遺伝子組換え技術の食品および食品添加物への安全性確保」明治大学農学部教授 中島春紫さん
- 第14回「新しい育種技術(NBT)をどうとらえるのか」農林水産省技術安全室室長 鈴木富男さん
- 第15回「遺伝子組換え作物・食品の安全性確認」東京農工大学教授 小関良宏さん
- 第16回「機能性表示食品制度が始まって」グローバルニュートリショングループ代表取締役 武田猛さん
- 第17回「食の安全～地方衛生研究所、食品安全委員会、クドア」川崎市健康安全研究所長 岡部信彦さん
- 第18回「新規技術のリスクにどう向き合うか」東京大学公共政策大学院 特任教授 岸本充生さん
- 第19回「機能性表示食品を評価して」消費者市民社会をつくる会(ASCON)代表理事 阿南久さん
- 第20回「食品の放射性物質のリスク～消費者意識調査からわかったこと」東京大学食の安全研究センター長関崎勉さん
- 第21回「食品表示の意味を考えよう～加工食品の原料原産地表示を中心に」消費生活アドバイザー 森田満樹さん
- 第22回「農業分野におけるゲノム編集技術とその規制をめぐる国内外の動き」名古屋大学教授 立川雅司さん
- 第23回「意外と知らない「学校給食」の真相」(株)菜友 プロダクトマネージャー 吉田達也さん
- 第24回「遺伝子組換え農作物の規制の動向と課題」農林水産省 消費・安全局 高島賢さん
- 第25回「科学技術の受容における市民の心理～放射線からゲノム編集まで」大阪学院大学 田中豊さん
- 第26回「ゲノム編集農作物をめぐる国内での規制について」筑波大学 教授 大澤良さん
- 第27回「食品表示に関する考え方」日本生活協同組合連合会 品質保証本部 中川英紀さん
- 第28回「3.11 から学ぶ放射能をめぐるリスクコミュニケーション」量子科学技術研究開発機構 小林泰彦さん
- 第29回「ナノセルロースを知っていますか」産業技術総合研究所 平田悟史さん
- 第30回「食品表示の現状とこれから」 Food Communication Compass 代表 森田満樹さん
- 第31回「リスク、うわさ、パニックの心理学」大阪学院大学 田中豊さん
- 第32回「食品表示制度検討委員会をふりかえって」全国消費者団体連絡会 浦郷由季さん
- 第33回「無添加表示ガイドライン検討会(仮)への期待」日本食品添加物協会 上田要一さん
- 第34回「『食品添加物表示制度に関する検討会』の取りまとめ結果とその後の対応について」消費者庁 宇野真麻さん
- 第35回「『食品添加物の不使用表示に関するガイドライン検討会』に参加して」
- 日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会会員 戸部依子さん
- 第36回「ゲノム編集食品の食品衛生上の取扱いについて」厚生労働省新開発食品保健対策室 室長今川正紀さん
- 第37回「遺伝子組換え食品のレギュレトリーサイエンス」千葉大学 園芸学研究院 教授 児玉浩明さん
- 第38回「食品表示の見直し状況 2023年4月施行」Food Communication Compass 代表 森田満樹さん